

校長室より

平成28年7月22日

荒高生は朝学習をしています

朝の職員打合せ（毎朝8時25分～）が終了しますと、私は2階の職員室から3年次の教室、3階の2年次の教室、4階の1年次の教室と階段を上がって行き、各年次の生徒の様子を見ています。各年次団の指導のもと、どの教室でも生徒は机に座って朝学習を行っています。3年次は就職・進学に備えた一般常識の問題、2年次は国語・数学・英語の進路に対応した問題、1年次は基本的な一般常識の問題に取り組んでいます。年次により課題は異なりますが、その年次で覚えておいて欲しい内容ばかりです。まもなく1学期が終了しますが、1年間継続して朝学習をしていくと膨大な学習量になります。朝学習を通して、卒業時の進路に役立つと共に、社会人として必要な学力を少しでも身につけて欲しいと私は願っています。

6月21日から24日は読書強調週間、授業が始まる前の20分間に朝読書も行いました。生徒は図書館から本を借りる、自宅から本を持って来るなど自分の読みたい本を準備し、静かな教室で黙々と読んでいました。生徒の感想の中には、「読書週間は終わりましたが、引き続き本を読みたい」、「朝読書の時間以外にも読んだりすることが増えたのでよかった」、「次の読書強調週間も楽しみにしている」などの記載がありました。また、アンケートでは「とても面白かった」、「面白かった」と答えた生徒が92.3%と有意義な時間ではなかったかと感じています。これを機会に図書館を大いに利用し、夏休みに何冊も本を読んで欲しいと感じました。

【朝学習の風景】



【読書強調週間の風景】

